



インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 122

快挙！シヨパン・コンクール第4位入賞

小林愛実

「ピアノ」

▼ P1

女王陛下も愛したイギリスの随一の名門との共演

辻井伸行&ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団

▼ P3

所沢ミューズ年末の風物詩!!ズーラシアンブラスとその仲間たちが大集合!!
2022ズーラシアンブラス ジルベスター音楽祭

▼ P5

快挙！シヨパン・コンクール第4位入賞

小林愛実「ピアノ」

2021年のシヨパン国際ピアノ・コンクールで4位に入賞し、世界中から注目を集めた小林愛実。7歳にしてオーケストラと共演を果たした幼少期から現在に至る栄光と苦悩の軌跡をたどった。

14歳でCDデビュー——天が与えた才能

1995年、山口県に生まれた小林愛実。シャイな性格を心配した両親が色々な人とコミュニケーションをとって欲しい、と願い通い始めた習いごとの1つが音楽教室だった。すぐにピアノを気に入ら習いたい！と希望したという。すると天が与えた才能だろうか、7歳でプロのオーケストラと共演し、9歳で国際デビューをするなど、周囲も驚くような優れた音楽性を発揮。様々なコンクールで優勝するなど輝かしい成績を収め、わずか14歳にしてEMIクラシックスからCDデビューを果たすなど天才少女として音楽界の注目を集めた。この頃の録音や映像も多く残されているが、作品の世界に深く分け入り楽想に繊細に反応する様は大人顔負け、まさに音楽の化身と言いうにふさわしい才能だ。

ピアノを弾く苦悩——カーティス音楽院への留学

CDデビューを記念したサントリーホールでのリサイタルでも大成功を収め、順調にキャリアを築いていった小林愛実だが、16歳で挑戦した国際コンクールで優勝を逃し大きな挫折を味わうことになる。それまで多くのコンクールで優勝してきた小林にとって3位という成績は大きなショックだった。「なぜピアノを弾いているのか？」

林愛実だが、16歳で挑戦した国際コンクールで優勝を逃し大きな挫折を味わうことになる。それまで多くのコンクールで優勝してきた小林にとって3位という成績は大きなショックだった。「なぜピアノを弾いているのか？」「本当にピアノが好きなのか？」と自問し、ピアノをやめようかとさえ思い悩む苦しい日々が続いた。そして、とにかく日本を出て環境を変えたいという思いでアメリカ随一の名門カーティス音楽院への留学を決意した。カーティス音楽院に入学し名教師として名高いマンチェ・ヒ・トーンハレ管と共演するなど世界へと大きく飛躍していく。

自分のために弾く——2015年シヨパン・コンクールに初挑戦

再びピアノに真剣に向き合うようになった小林愛実には、マンチェ・リュウ教授は多くのことを与えてくれた。作品やその背景にある幅広い知識、音楽や音が表現する多様なもの、何より自由に音楽を表現していいということ

を学んだ。そして2015年のシヨパン・コンクールは、そんな葛藤の最中に「勢いで申し込んだ」という。「もし、ピアノをやめるにしても、最後にもう一度頑張ってみよう」という心境だった。ただ上手く弾くのではない、作曲家のために、そして自分のために弾くという気持ちで大切に臨んだ頂上決戦ともいえる大舞台で、日本人唯一のファイナリストという好成績を収めた。カーティス音楽院への留学とシヨパン・コンクールへの挑戦を通じて「ピアノが好きだから弾いている」と確信し「上には上がいることを知り、同じ立場で頑張る仲間がいるから自分も頑張れる」とピアノリストとして歩む強い決意が生まれた。

2021年シヨパン・コンクールへの再挑戦——4位入賞の快挙

ピアノリストとして、再び力強く歩み出した小林愛実は、2017年にモスクワ・フィルと日本ツアーで共演。2018年には世界の名ピアノリストが集うラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭にも出演し注目を集め、さらに2020年にはヨーロッパ随一の名門チューリッヒ・トーンハレ管と共演するなど世界へと大きく飛躍していく。そして2021年、再びシヨパン・コンクールに挑戦する決意をする。当初は再挑戦に乗り気ではなかったが、信頼する周囲の後押しもあり「どこまでできるかな」という気持ちで参加を決めた。同じ音楽教室に通った幼馴染の反田恭平と共に3次予選を突破すると、ワルシャワ・フィルと共演するファイナルのコンチェルトは「無の境地」でシヨパンの音楽に向き合うことができた。「4位入賞は私にとって音楽家としてスタート地点に立つことができたギフト。理想とする音楽家に近づけるよう邁進したい」と謙虚に語る。栄光にもおごることなく音楽と向き合い、未来を見つめる若き天才が紡ぐ美しく深いシヨパンに静かに耳を傾けたい。

読売日本交響楽団 原田慶太楼[指揮]小林愛実[ピアノ]

2023年2月26日(日) 好評発売中
13:15開場 14:00開演
アークホール

曲目◆シヨパン：ピアノ協奏曲第1番
マーラー：交響曲第1番『巨人』
料金◆全席指定

S席：¥6,700 A席：¥5,800
B席：¥5,300 P席：¥4,600

メンバーズ特割
S席：¥5,500 A席：¥5,000
B席：¥4,500 P席：¥4,000

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により、公演の中止の可能性がございます。
最新情報は所沢ミュージズ公式ホームページでご確認ください。



幼い頃から数々のコンクールで優勝し注目を集めた(写真右端)



カーティス音楽院では名教師として名高いマンチェ・リュウ教授に師事し飛躍のきっかけとなった



2015年のシヨパン・コンクールで親しい友人でもあるケイト・リウ、エリック・ルーと



2021年のシヨパン・コンクールでは4位入賞の快挙を成し遂げた



シヨパン・コンクールの控室にて 本番に向けて集中力を高める

女王陛下も愛したイギリス随一の名門

ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団

ヨーロッパの楽団が
熱い視線を送る天才指揮者
Vasily Petrenko
ヴァシリー・ペトレンコ [指揮]



2021年新たな音楽監督に就任したヴァシリー・ペトレンコが手兵ロイヤル・フィルと共に来日を果たす。ヨーロッパでも評価を高める辻井伸行をソリストに迎えて、チャイコフスキーをメインに据えたプログラムで充実の名演奏を繰り広げる。

ヴァン・クライバーン・
コンクール優勝
Nobuyuki Tsujii
辻井伸行 [ピアノ]

ヨーロッパでいま熱い注目を集めるヴァシリー・ペトレンコ。40代半ばという若さながら、ベルリン・フィル、ゲヴァントハウス管、ロンドン響など世界の頂点とも言える名門楽団に次々と客演。2021年からはイギリス王室からロイヤルの称号を受け「女王陛下のオーケストラ」として輝かしい歴史を築いてきた名門ロイヤル・フィル（RPO）の音楽監督に就任するなど、その卓越した音楽性で名声を不動のものとした。

ヤンソンス、テミルカーノフらの
薫陶を受けた俊英

2歳にして母の歌う「ジングルベル」に合わせておもちゃのピアノを弾き、4歳で本格的にピアノを学び始めた辻井伸行。「ただ、多くの人に聴いてもらえることが嬉しい」という無垢な情熱とともに、2005年には、ワルシャワで行われた「第15回シヨパン国際ピアノ・コンクール」に最年少で参加し、「批評家賞」を受賞。東響、読響、スロヴァキア・フィルなど著名オーケストラとの共演という大舞台も経験。そして、2009年世界最難関のひとつと言われるヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝。ピュアな人間性のにじみ出る美しい音色と超絶技巧で世界中の聴衆に感動を与えた。その後も、開催する数多くのリサイタルは、完全に次ぐ完全。レコーディングも活発で、発売されたCDはクラシックで異例の売上枚数を記録しているほか、作曲にも才能を発揮し、自作曲がドラマやCMに起用されるなど、多彩な音楽活動で常に話題を集め、国民的なピアニストとして活躍している。

神に祝福された才能
澄み切った音色と天性のテクニック

SEKISUI HEIM presents
ヴァシリー・ペトレンコ指揮
ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ: 辻井伸行
2023年5月28日(日) 好評発売中
13:15開場 14:00開演 アークホール
料金◆全席指定
S席: ¥24,000 A席: ¥20,000
B席: ¥15,000 C席: ¥10,000
◆メンバーズ割引
S席: ¥21,600 A席: ¥18,000
*B・C席のメンバーズ割引はございません
曲目◆チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番
チャイコフスキー: 交響曲第6番「悲愴」ほか
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により出演者の変更や公演中止の可能性もございます。
※最新情報は所沢ミュージズの公式ホームページでご確認ください。

その後のペトレンコの快進撃の詳細を列挙するには紙面がいくらあっても足りない。ベルリン・フィル、ゲヴァントハウス管、ロンドン響に加え、チェコ・フィル、フランス国立管、ロサンゼルス・フィル、クリューヴランド管とあらゆる一流楽団に客演。オペラの分野でも、メトロポリタン歌劇場、バイエルン国立歌劇場、パリ・オペラ座など一流歌劇場に出演し卓越した手腕で絶賛を浴びている。さらに世界最大の音楽祭「BBCプロムス」やグライントポーン音楽祭、エディンバラ音楽祭にも登場し、ますます人気を高めている。

世界の槍舞台へ
ベルリン・フィル、ロンドン響とも共演

2011年カーネギーホールでリサイタル・デビュー。2013年イギリス最大の音楽祭の祭典BBCプロムスで協奏曲デビューし、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番とアンコールのリスト「ラ・カンパネッラ」で、ロイヤル・アルバートホールに詰めかけた7000人ものロンドンっ子が熱狂。2015年ウィーン楽友協会黄金ホールにて、佐渡裕指揮トーンキュンストラ管の定期演奏会で、プロコフィエフのピアノ協奏曲第3番を演奏。その後、ゲルギエフ指揮でドイツ屈指の名門ミュンヘン・フィルと共演し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」でガスタイクにデビュー。続いて2016年ザンデルリンク指揮ドレスデン・フィルとベルリン・フィルの本拠地であるフィルハーモニーにデビュー。最高の音響を誇るホールと名門オーケストラのサポートでラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を熱演し、耳の肥えた音楽都市ベルリンの聴衆を魅了する。こうした世界中の名指揮者・オーケストラとの共演は、辻井の瑞々しい感性に加え、技術と表現力に磨きをかけ、澄み切った音楽世界にさらに深みをもたらし、繊細さと力強さを併せ持つ辻井のピアノは、名門ロイヤル・フィルとペトレンコの指揮で、輝かしい融合を見せてくれるに違いない。

ウィーン、ロンドンの聴衆も魅了
世界の名ピアニストに



2022

ズーラシアンブラス ジルベスター音楽祭

所沢ミュージズ年末の風物詩！！ ズーラシアンブラスとその仲間たちが大集合！！

世界で唯一の動物演奏家たちによるオーケストラ“ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団”。
今回はどんなコンサートなのでしょう？ズーラシアンブラスのリーダーで指揮者の“オカビさん”が、こっそり教えてくださいました！



みなさんこんにちは！ズーラシアンブラスのリーダー、そして指揮者のオカビです。大晦日は毎年恒例のジルベスター音楽祭がやってきます。1年のうちでも全員が集まるコンサートはこの日だけなので、動物たちもとても張り切っているんですよ。今回注目の動物はなんといっても秋にデビューしたばかりのジャイアントパンダです。担当しているのははくとと同じ指揮！コビトカバも含めて、これで指揮者が3名となりました。ひとつのコンサートで指揮者がリレーしていく…なんていうのはなかなか珍しい光景ではないでしょうか。それぞれの振り方の個性にもぜひ注目してくださいね！

なかが全責そのものは、ジルベスターだけ！

どうぶつ紅白うたがっせーん♪

このコンサートで恒例となっているのが『動物紅白歌合戦』です。動物たちが大晦日ならではの、話題になった曲やなつかしの名曲を入れ替わり立ち替わりで演奏します。昭和歌謡大好きなスマトラトラが中心となって企画しているため、お子さまどころか、お母さんお父さん世代も置いてけぼりな選曲になることもしばしばです。そして、動物達が披露するとても下手くそなダンスも見どころの一つです。運動神経が悪い音楽家たちが一生懸命踊っているのが、フリの合わない部分も大目に見てください(笑)

入魂一筆 川柳ブラス

動物たちを題材にした川柳と演奏をお届けするといふ新しい試みの「川柳ブラス」。こちらの川柳はファンのみならずから募集して、あつまった川柳の中からこれぞという句を選んで曲にしてしまおう…というユニークな企画になっています。どんな演奏になるかは当日ふたを開けてみないとわからないお楽しみです！

へスタッフのはたらくりたちが考えた川柳の例

- ・ジルベスター 動物たちが 勢揃い
- ・マレーバク 眠れる森の 美男子さ
- ・マエストロ オカビにパンダ コビトカバ
- ・ナマケモノ 必殺ポーズは 指くわえ

だれの川柳が
選ばれるか
ドキドキだよ！



はたらくり

10年入

今年もまた大晦日だったので、スマトラトラ率いるトロンボーン軍団が大ハッスルした一年でした。年末最後にまた大暴れしてくれるのではないのでしょうか。そして来年はうさぎ年ですね。コンサートマスターのオルコットや弦うさぎの四姉妹をはじめ、弦楽器のうさぎさん達が「自分達の年だ」と、とても楽しみにしているようです。動物一同、ジルベスター音楽祭でみなさんとお会いできることを楽しみにお待ちしております！

弦うさぎ



スマトラトラ

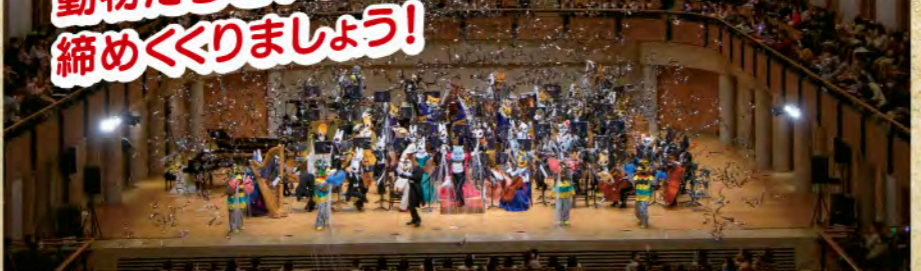
オルコット

オカビ

所沢ミュージズ初登場！
ジャイアントパンダ

コビトカバ

演奏と観客の拍手が会場をひとつにする！
動物たちといっしょに2022年を賑やかに
締めくくりましょう！



所沢ミュージズとズーラシアンブラスは、
パートナーシップアレンジメント
「グリーン・アース・ファンタジー」
を宣言しました！！

所沢ミュージズと、ズーラシアンブラスが力を結集して、素晴らしい音楽や夢、希望をたくさんの人に届けられるように、これからも様々なコンサートをお届けしていきます。どうぞご期待ください！



2022ズーラシアンブラス ジルベスター音楽祭

2022年12月31日(土) 好評発売中
14:00開場 15:00開演 アークホール

料金 ◆全席指定
S席：¥5,000 A席：¥4,500
B席：¥4,000 C席：¥3,500
D席：¥2,500

曲目 ◆ジルベスターファンファーレ
川柳ブラス
チャイコフスキー ピアノ協奏曲
動物紅白歌合戦2022 ほか

※3歳以上有料(2歳までのお子様は保護者1名につき1名まで膝上鑑賞無料)
※新型コロナウイルスの感染状況により出演者の変更や公演中止の可能性もございます。最新情報は所沢ミュージズの公式ホームページでご確認ください。



ステージレポート

Stage Report

8月26日
～10月8日

2022

8/26(金) ■ よしもとお笑いライブ～常夏の爆笑満天ネタまつり!～ in 所沢2022
(アークホール)

出演/トータルテンボス、とろサーモン、おいでやす小田、和牛、インディアンズ、
コロコロチキチケペッパーズ、空気階段、オズワルド、大谷健太



よしもとお笑いライブ

27(土) ■ 触れてみよう!能楽の世界 能「杜若」

(キューブホール)
出演/遠藤喜久[観世流能楽師] ほか



触れてみよう!能楽の世界「杜若」

9/10(土) ■ イープラス presents 『ピアノの森』ピアノコンサート 2022

(アークホール)
出演/高木竜馬 [ピアノ]
曲目/ベートーヴェン:エリーゼのために
ショパン:ワルツ 第9番「別れのワルツ」
リスト:ラ・カンパネラ ほか



『ピアノの森』ピアノコンサート 2022

11(日) ■ マルツィン・ディラ [ギター]

(キューブホール)
曲目/J.S.バッハ:リュート組曲 ホ短調 BWV996
ソル:悲歌風幻想曲 ほか



マルツィン・ディラ [ギター]

15(木) ■ 劇団四季ファミリーミュージカル 人間になりたがった猫

(マッキーホール)



劇団四季ファミリーミュージカル

17(土) ■ グザヴィエ・ドゥ・メストレ [ハープ]

(アークホール)
曲目/デュセック:ソナタ ハ短調
スメタナ:交響詩「モルダウ」 ほか

グザヴィエ・ドゥ・メストレ [ハープ]

17(土) ■ スライド・モンスタース ジャパン・ツアー2022 “トラベラーズ”

(マッキーホール)
出演/中川英二郎、ジョゼフ・アレッシ、マーシャル・ジルクス、ブラント・アテナ [トロンボーン]
曲目/中川英二郎:Travelers、Secret Gate ほか



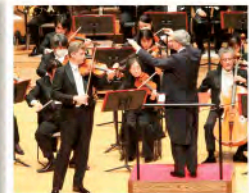
スライド・モンスタース ジャパン・ツアー 2022

24(土) ■ NHK 交響楽団 ファビオ・ルイーダ首席指揮者就任記念 ジェームズ・エーネス [ヴァイオリン]

(アークホール)
曲目/ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 二短調 Op.61
ブラームス:交響曲第2番 二長調 Op.73



NHK 交響楽団 ファビオ・ルイーダ首席指揮者就任記念

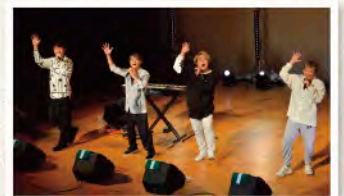


10/2(日) ■ New Best Album 発売記念! 鈴木聖美 35th Anniversary live I've got soul “just one night”

(アークホール)
出演/鈴木聖美、鈴木雅之、佐藤善雄、桑野信義、杉真理



鈴木聖美 35th Anniversary live



JAY'S GARDEN

8(土) ■ JAY'S GARDEN [ヴォーカルグループ]

(キューブホール)
出演/櫻田範稔、大谷篤志、山田裕介、世良太一

写真撮影(市民カメラマン):西山元博(8/26、9/17メストレ)、中村仁(8/27、10/2)、佐藤清一郎(9/10、10/8)、津田資雄(9/11)、由井一雄(9/15)、三平資郎(9/17スライド・モンスタース)、滝島利男(9/24)

編集後記

ミュージアムが隣接する「所沢航空記念公園」には沢山のイチョウの木があり、葉が落ちると金色のじゅうたんになります。色づく木々たちを見るのは、私の通勤時間の贅沢な楽しみです。芸術の秋、ミュージアムにいらした際は、ぜひ公園にも足を運んでみてくださいね。(O)



チケットのお問合せは……ミュージアムチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00～18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢ミュージアム

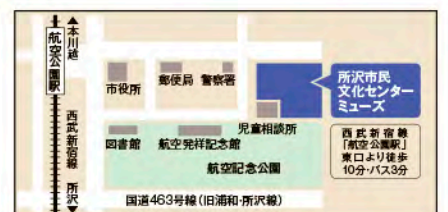
検索



クラシック・ポップラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージアムホームページでご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



*公演情報は2022年10月26日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2023年1月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。